

【 会 議 録 】 (概要)

日時:平成27年1月14日(水) 19:00~20:45

会議名	平成26年度越谷市自治基本条例推進会議 第6回会議	場所	越谷市役所本庁舎5階 第1委員会室
件名 議題	1 開会 2 協議事項 自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について 3 その他 4 閉会		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 佐々木会長、石崎副会長、駒崎委員、齋藤委員、白岩委員、鈴木委員、淵野委員、松原委員、村田委員、原田委員、三澤委員、大野委員、雨宮委員、横家委員(14名) 欠席委員 黒田委員 事務局 佐々木企画部副参事(兼)企画課長、早山企画課主幹、濱田同副主査、根本同主事(4名) 傍聴者 2名		
内 容	別紙 会議録(要旨)のとおり		
●合意・決定事項等 ・協議に先立ち、テレビ広報「いきいき越谷」平成26年12月放送分の特集「こんなまちに住みたい! ~市民と行政による住みよいまちづくり~」を上映した。 ・自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について協議した。次回の会議では、自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について引き続き協議することとした。 ・平成27年度第1回会議を4月15日(水)午後7時00分から開催することとした。			

会議録（要旨）

1 開会あいさつ（会長）

こんばんは。

本日の第6回目の会議が今年度最後の会議となります。本日は全体的な協議をしていただき、新年度から項目別の協議を行っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

・協議に先立ち、テレビ広報「いきいき越谷」平成26年12月放送分の特集「こんなまちに住みたい！～市民と行政による住みよいまちづくり～」を上映した。

2 協議事項

自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について

・事務局が、自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について及び【資料1】（第3期自治基本条例推進会議スケジュール（案））、【資料2】（越谷市におけるNPO・ボランティアとの協働事業（平成25年度実績））について説明した。

（会長）ありがとうございました。【資料2】として、NPOとの協働事業の実績がまとめられています。NPOは分野ごとに活動している団体が多く、自治会やコミュニティ推進協議会は全体的な、多分野に渡った活動を行っているかと認識しています。次回の会議では、自治会やコミュニティ推進協議会についての資料が提供される予定ですので、よろしくお願いいたします。自治基本条例は、参加、協働、情報共有を大きな柱としています。参加や情報共有については、制度等の整備が進んでいると感じています。協働を進めるための仕組みなどについてを中心に協議していけると良いのではないかと思います。

（A委員）【資料2】の委託、共催、協力の分類の説明をお願いします。

（事務局）委託は、事業自体を団体等に実施してもらい、市が委託料を支払ったものです。共催については、企画運営を市と団体が協力して行ったものです。経費についても、双方で負担をした事業が多く分類されています。協力については、市が企画した事業に講師として協力していただく等、団体にソフト面で協力を得た事業が多く分類されています。補助については、団体が独自に実施した事業に対して市が補助金を出したものが分類されています。

（B委員）協働について議論していく中で、指定管理者制度の実績についても確認する必要があると思います。たとえば、越谷市の男女共同参画支援センターは、NPO法人がソフト事業も含めて管理・運営を行っており、珍しい事例だと思います。市民活動支援センターの運営も、企業との協働と言えると思います。また、NPO法人の活動やボランティア活動の評価方法として、活動内容等を金額に換算してみるというものがあります。子育てサロンなどの事業も、市が直営で行った場合の金額換算等をすると、人の心の動き等の部分の評価は難しいですが、数字として一定の評価基準になるとと思います。

（C委員）NPO法人の活動以外にも、社会福祉協議会を通じてのボランティア等、金額換算をすると大きく市に貢献しているものがあると思います。

（D委員）ある報告書では、自治会等の地縁団体を通じてのボランティア経験のほうがNPO団体等を通じてのボランティア経験よりも多いとなっています。なお、地域にもよりますが、社会福祉協議会を通じてのボランティアは、NPO団体等の枠にカウントされることが多いようです。

- (E委員) 自分が所属している団体では、企業とパートナーシップを結ぶことが多いです。一般の企業等に対して成果等を説明する際、分かりやすいよう数字を用いています。協働事業の実績を確認する際、金額換算するなど数字で表すと分かりやすいと思います。
- (F委員) 市が団体等に事業を委託する場合、競争原理が働く仕組みの中で委託先を決定できると良いと思います。
- (G委員) 地区センター等に新規事業を提案する場合、時機や担当者によって事業の実現が左右されます。新規事業を判断するためのルールや提案するための窓口が必要だと思います。また、新規事業を提案する際に、行政や企業へ説明するための資料として団体の成果等を数字で表す必要があるということ、団体の側も感じてきています。
- (H委員) 地区センターでの講座等、内容や委託先が固定化しがちな印象があります。
- (I委員) 協力を求める相手方となりえる団体の存在や活動内容を、行政が把握しきれていないのが現状だと思います。市民活動支援センターが団体等と行政が情報をやり取りするための媒介となれば良いと思います。また、行政が事業等を行う際、知っている団体にだけでも積極的に情報提供することができると良いと思います。
- (J委員) NPO等で活動している上で、県と比べて市からの情報提供が少ないように感じています。
- (会 長) 情報の発信はまさしく市民活動支援センターが担うべき役割だと思います。市や団体の情報を集約して共有する場として市民活動支援センターが機能できると良いと思います。また、市民活動支援センターの運営について協議する組織を設置することが必要だと思います。
- (K委員) 市等から情報提供を行う時には、市民活動支援センターに登録されている団体の活動分野を対象を抽出すると効果的だと思います。また、市民活動支援センターの利用者や利用実績等について分析することも有効だと思います。
- (L委員) NPO等の活動内容を分析するようなメタ組織があると、活動が活性化するのではないかと思います。市民活動支援センターがそのような役割を担えると良いと思います。また、自治会などの地縁団体や、まちづくりに関わっている企業の活動なども、それぞれ分析する組織があると良いと思います。
- (M委員) 防災など、地域の中で自治会等の地縁団体が重要な役割を担っています。自治会等では現在、高齢化などが問題となっています。自治会等と、NPOなどの専門性の高い団体がどのように連携していけるかが課題だと思います。
- (N委員) 自治会等の地縁団体同士や、地域企業同士を包括する場や組織をつくり、包括する組織同士でつながりを持つというのも連携の方法としてあると思います。
- (O委員) 越谷市でも、地域の色々な団体を集めた会議が開催されています。
- (会 長) 地域の全体的な課題を自治会等が担っていることが多く、越谷市において地域コミュニティ組織は非常に重要な役割を担っていると感じています。
- (P委員) 自治会等とNPO等が協力できる仕組みがあれば、地域の活動がより一層活性化すると思います。
- (Q委員) 市民活動支援センターの開所式では、コミュニティ推進協議会を始め様々な団体が一堂に会しました。そういった場を有効活用していけると良いと思います。
- (R委員) 全国的に見るとNPO法人化している自治会もあります。NPO法人化することも、手段の一つとしてあると思います。
- (会 長) 企業等との連携についても考えていく必要があると思います。
- (S委員) 協働フェスタは、始まった頃は市民活動団体のみでの参加でしたが、今はコミュニティ推進協議会や企業からの参加もあります。今年は、地域での様々な活動に関わっていることの多い民生委員も参加予定です。市からの参加もあり、だんだん範囲が広がってきていると感じています。協働フェスタ1日だけで終わらず、それをきっかけにして各種団体の連携を強めていければ良いと思います。まずは情報を共有することが大切だと思います。情報を共有す

るための場や仕組みをつくることができれば良いと思います。

- (T委員) 今期の推進会議として、指標の設定や評価方法について意見を出すことになると思います。どの分野の人を対象として指標を設定するかが重要だと思います。また、情報について、受け取り手のことを考えて情報発信の方法を工夫していくことが必要だと考えています。
- (会長) 推進会議は今後、自治基本条例が適切に運用されているかを指標等で評価していくことが中心的な役割となっていくと考えています。今期の推進会議は、評価のためのシステムを作ることが重要な役割だと認識しています。

●合意・決定事項等

- ・ 次回の会議では、自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について引き続き協議することとした。

3 その他

- ・ 事務局が、「自治基本条例施行5周年に係る越谷市自治基本条例PRパネルについて」【資料3】(『越谷市自治基本条例』PRパネルを作成しました！越谷市公式ホームページ)に基づいて説明した。
- ・ 事務局が、「平成26年度市民活動わくわくシンポジウムについて」【参考資料】(平成26年度市民活動わくわくシンポジウム(チラシ))に基づいて説明した。
- ・ 事務局が、次回の日程等について説明した。

※平成27年度第1回会議を4月15日(水)の午後7時00分から開催することとした。

※平成27年度第1回会議の協議事項である自治のまちづくり推進のための仕組みづくり・環境整備について、1月30日(金)までにメーリングリスト等を活用して事務局に意見を提出することとした。

4 閉会(副会長)

長時間にわたりましてご協議いただきありがとうございます。仕組みと環境整備について、引き続き貴重なご意見をお出しいただけるようお願いいたします。また、2月22日に市民活動支援センターで行われるシンポジウムや、推進会議委員が有志で参加する協働フェスタ等、お時間のある方はご協力いただけますよう、よろしく申し上げます。